







# 3 セグメント別詳細情報 - 航空宇宙システム

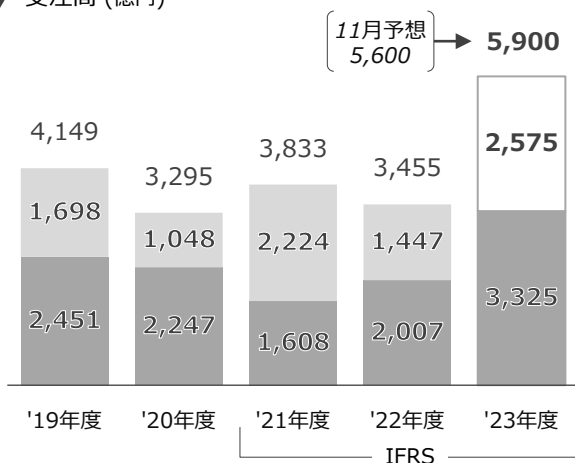
## 2023年度3Q実績（前年同期比）

- 受注高**  PW1100G-JMエンジンに係る損失計上（受注高の減額）があったものの、防衛省向けやボーイング向けが増加したことなどにより増加  
+1,317 億円
- 売上収益**  PW1100G-JMエンジンに係る損失計上（売上収益の減額）があったものの、防衛省向けやボーイング向け、民間機向け航空エンジンが増加したことにより、前年同期並み  
▲30 億円
- 事業利益**  増収による増益はあるものの、PW1100G-JMエンジンに係る損失計上などにより減益  
▲492 億円

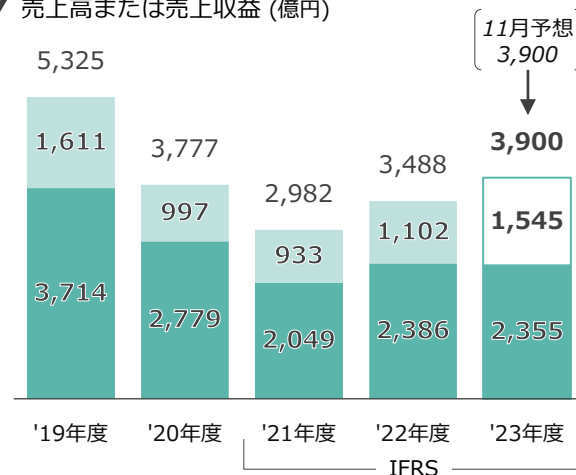
## 2023年度予想（従来予想比）

- 受注高**  防衛省向けの増加などにより、見通しを引き上げ  
+300 億円
- 売上収益**  大きな変動はなく、見通しを据え置き  
±0 億円
- 事業利益**  民間機向け航空エンジンの収益性の改善や為替が円安で推移した影響などにより、見通しを引き上げ  
+70 億円

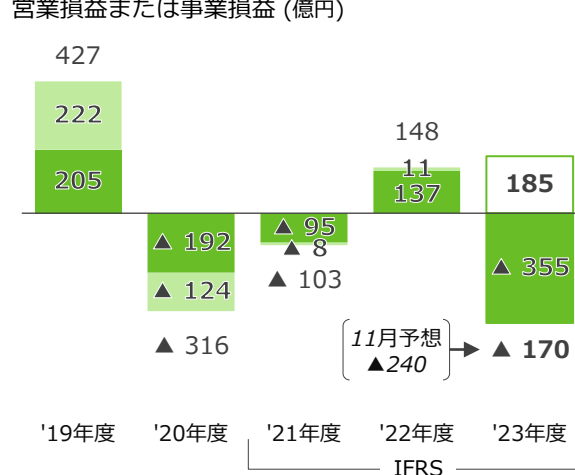
受注高（億円）



売上高または売上収益（億円）



営業損益または事業損益（億円）



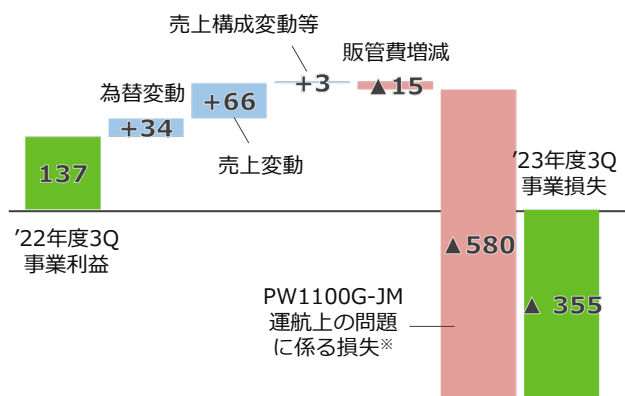
(注) グラフは濃色部が3Q累計、淡色部が4Qを表します

# 3 セグメント別詳細情報 - 航空宇宙システム

(単位：億円)

	'22年度	'23年度		'22年度	'23年度予想				
	3Q実績	3Q実績	前年同期比	通期	従来予想	修正予想	前期比	従来予想比	4Q予想
受注高	2,007	<b>3,325</b>	+ 1,317	3,455	5,600	<b>5,900</b>	+ 2,445	+ 300	<b>2,575</b>
うち 航空宇宙	1,405	<b>3,105</b>	+ 1,700	2,539	4,750	<b>5,000</b>	+ 2,461	+ 250	<b>1,895</b>
航空エンジン	602	<b>219</b>	▲ 383	915	850	<b>900</b>	▲ 15	+ 50	<b>681</b>
売上収益	2,386	<b>2,355</b>	▲ 30	3,488	3,900	<b>3,900</b>	+ 412	-	<b>1,545</b>
うち 航空宇宙	1,608	<b>2,013</b>	+ 404	2,493	3,200	<b>3,200</b>	+ 707	-	<b>1,187</b>
航空エンジン	777	<b>342</b>	▲ 435	995	700	<b>700</b>	▲ 295	-	<b>358</b>
事業損益	137	<b>▲ 355</b>	▲ 492	148	<b>▲ 240</b>	<b>▲ 170</b>	▲ 318	+ 70	<b>185</b>
	[利益率]	[5.7%]	[▲ 15.1%]	[4.3%]	[▲ 6.2%]	[▲ 4.4%]	[▲ 8.6pt]	[+ 1.7pt]	[12.0%]

## 事業損益増減要因 (億円)



## 補足情報

ボーイング向け航空機分担製造品の売上機数 (単位：機)

	'22年度		'23年度		3Q比増減
	3Q	通期	3Q	3Q	
767	23	31	23	-	
777	20	28	24	+ 4	
777X	0	0	3	+ 3	
787	6	20	24	+ 18	

主要航空エンジン分担製造品の売上台数 (単位：台)

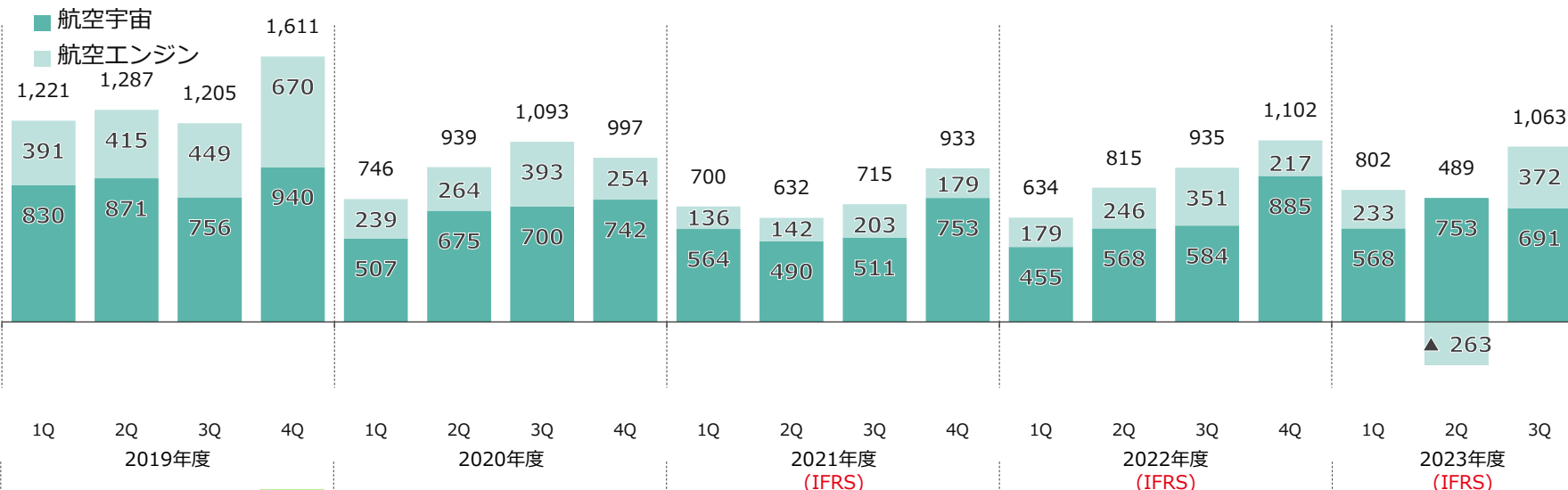
	'22年度		'23年度		3Q比増減
	3Q	通期	3Q	3Q	
V2500	16	20	5	▲ 11	
PW1100G	446	564	507	+ 61	

(注) Rolls-Royce向けエンジンは非公表

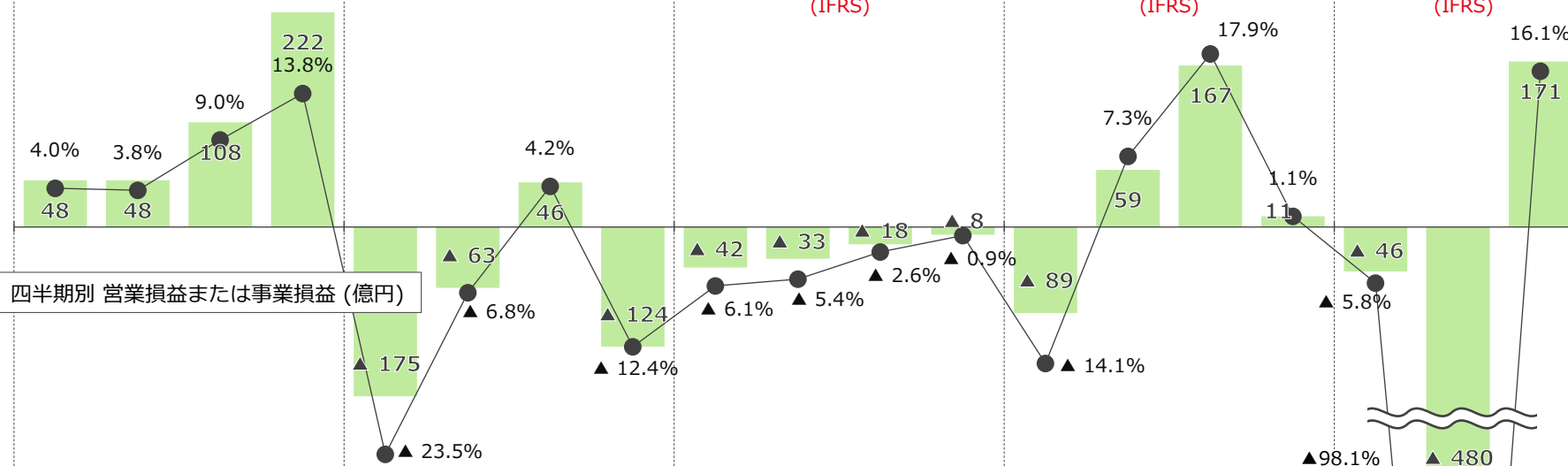
\* 当第3四半期末において評価替を実施しているため、財務諸表上で認識されている実際の金額とは異なります

# 3 セグメント別詳細情報 - 航空宇宙システム

四半期別 売上高または売上収益 (億円)



四半期別 営業損益または事業損益 (億円)



# 3 セグメント別詳細情報 - 航空宇宙システム

## 事業環境・受注動向

- 民間向け
  - 航空旅客需要は、ほぼコロナ以前の水準にまで回復
  - ボーイング787型機の今後の生産レート引き上げが期待できる
- 防衛省向け
  - 抜本的な防衛力強化という防衛省の方針のもと、今後の需要増や採算性の改善が期待できる

(補足)

当社がIAE社※を通じて参画しているPW1100G-JMエンジンプログラムについて

- ✦ 同エンジンには運航上の重要な問題が発生しており、本問題を解消するため、今後数年間にわたって多数の同エンジンが検査・整備のため機体 (A320neo) から取り下ろされる見込み
- ✦ エンジンの取り下ろしから取り付けには250~300日を必要とするため、多くの機体が地上駐機状態となる
- ✦ 本件に関する当社のプレスリリース  
[https://www.khi.co.jp/pressrelease/news\\_230912-2.pdf](https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_230912-2.pdf)  
[https://www.khi.co.jp/ir/pdf/etc\\_231026-1j.pdf](https://www.khi.co.jp/ir/pdf/etc_231026-1j.pdf)

※ International Aero Engines, LLC

## 重点施策と具体的な取り組み

### ✓ 基盤事業での安定した収益確保

- ボーイング既存機および民間航空機用エンジンの収益確保のためのコストダウン推進
- 需要回復に伴うサプライチェーンおよび増産体制の再整備
- 防衛航空機・ヘリコプタの既受注開発案件・量産契約の着実な推進

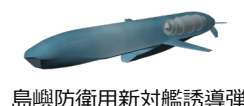


H145//BK117 D-3  
累計10機目を納入

### ✓ 防衛事業にかかる活動強化

- 防衛力強化に向けた7つの重視分野への取り組み推進

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 統合防空ミサイル防衛能力 | 5 機動展開能力     |
| 2 スタンド・オフ防衛能力  | 6 持続性・強靱性    |
| 3 領域横断作戦能力     | 7 無人アセット防衛能力 |
| 4 指揮統制・情報関連機能  |              |



島嶼防衛用新対艦誘導弾



スタンド・オフ電子戦機※  
※出典：防衛省ホームページ  
<https://www.mod.go.jp/j/publication/wp/wp2020/html/n42203000.html>

### ✓ 市場変化を踏まえた技術戦略の見直し

- 防衛力強化の実現に向けた民生技術の活用を含む技術開発の促進
- NEDOグリーンイノベーション基金活用による脱炭素社会に向けた環境技術開発の推進